

たすけあい
京葉福祉NW

京葉福祉ネットワーク

第1号 発行記念号

2020年3月31日
発行責任者：
会長 松田 敏明
編集担当：
NW事務局



たすけあい
京葉福祉ネットワーク



京葉小学校区 *順不同*
(岩崎・玉前・出津・五井西地区)

京葉福祉ネットワークが活動を開始しました!

京葉福祉ネットワークとは!

【目 的】 *京葉福祉ネットワーク規約 第3条

このネットワークは、市原市地域福祉計画及び市原市地域福祉活動計画に基づき、京葉小学校区に住む住民一人ひとりの主体的参加を得て、「支え合い・助け合い」の仕組みをつくり、誰もが地域での暮らし易さを確保するとともに、安心して生活できる地域社会づくりを目的とする。

簡単に、話をすると、みんなで協力して、
「ささえあい・たすけあい、安心して暮らせる街作り」
を、4地区・4町会 みんなで作いましょう! ということです。



2019年度の「事業実績」まだまだ、小さなことですが...

- (1) 安心訪問員の研修会を受けました
高齢者の定期的見守り支援の第一歩
- (2) スクールガードの情報交換会を開催しました
- (3) 児童の見守り支援活動(登下校時の見守り)
- (4) 小学校行事への協力(運動会・相撲大会他)
- (5) 地域防犯パトロール活動(防犯協会連携)
- (6) 清掃活動(町会連携)



推進委員として、次の組織から推薦された人たちが活動しています。

町会(岩崎・出津・玉前・五井西)、民生委員・児童委員、子育て家庭支援員、保護司、更生保護女性会、青少年相談員、青少年補導員、スポーツ推進委員、防犯指導員、消防団、4地区老人(シニア)クラブ、京葉小学校、京葉小学校PTA、その他、このネットワークの趣旨に賛同する者で、会長が認めた者

安心生活見守り支援

小学校区ごとに設置されている小域福祉ネットワークでは、地域住民や関係機関などが連携し、地域の課題解決に向けて支え合い・助け合い活動を行っています。

「安心生活見守り支援」はその一つ。研修を受けたボランティアの安心訪問員が、月に1、2回一人暮らしの

高齢者や障がい者などに、訪問や声掛けを行います。

異変に気付いたときは、地域包括支援センターや市役所などの関係機関につなげ、適切な支援や素早い対応を受けられるようにします。

定期的な訪問で、
異変を早期発見



病歴、持病、服用中の薬、緊急連絡先などの情報を救急隊員に確実に伝える「みまもりくん」(福祉医療情報キット)を配布する地域もあります。

***京葉福祉ネットワーク役員は、安心訪問員の研修を受けました。**



Interview

高齢者が暮らしやすい地域をつくります

生活支援コーディネーター 穴澤有希さん

私は11ある地域のうち、五井地区を担当しています。高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で暮らしていける、そんな地域づくりが私たちの任務です。そのために、介護予防や生活支援の仕組みを地域の皆さんと一緒に地区の協議体の中で検討しています。

五井地区では、高齢者の困りごとに気付ける見守りを主に議論していて、去年は実際に見守り活

動をしている町会や小域福祉ネットワーク、民生委員の皆さんにアンケートを行いました。この結果、把握していなかったさまざまな見守りに関する活動があることが分かりました。これを基にして、地域の中で何が足りないのか、今ある活動をどう連携させて課題を解決していくか、地域の皆さんと一緒に考え、取り組んでいきます。

高齢の方で、生活する中での困りごとがあったら気軽に相談してください。地域のみんなで高齢者が暮らしやすいまちにしていきたいと思います。



他小域福祉ネットワークの活動について！

市社協HPより 抜粋



五井福祉NW 更級公園 健康体操
毎日 朝6時半から ラジオ体操開催



わかば福祉NW
サロン わかば(茶話会) 各町会会館



東海小中 福祉NW
ふるりの歴史を学ぶ地区民交流

***市原市社会福祉協議会ホームページ から 小域福祉ネットワーク を検索してください！**

【2020年度 事業計画(案)】

- (1) 高齢者の定期的見守り支援活動
- (2) 軽体操(ラジオ体操)
- (3) 児童の見守り支援活動
- (4) 小学校行事への協力
- (5) 地域防犯パトロール支援活動
- (6) 清掃活動



<ネットワークからのひとこと>

京葉福祉NWが設立し一年になりました。会議を通して主体的な活動は「高齢者及び子供」の安心・安全見守り支援です。**みんな笑顔で楽しくやりましょう！ (T. M)**